

(2) 学校推薦型選抜

- ア 表中の高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、高等専門学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程等を含みます。
 なお、これら以外の学校を卒業した者及び2027年3月に卒業見込みの者は、本学において入学資格審査を行い、認められれば高等学校を卒業した者又は卒業見込みの者と同等であるとみなします。
 また、表中の「卒業」は、高等専門学校においては「3年次修了」と読み替えてください。
- イ 大学入学共通テストは課しません。
- ウ 複数の学部（学群）・学科（学類）・推薦種別間で併願はできません。

外国語学部

学 科	推薦種別	募集人員	推 薦 要 件			学校長推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適性要件等	成績要件				時間	配点
英 米 学 科	全 国 推 薦	18	高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者で、次のいずれかの公的な資格を取得した個人（記載レベル以上） ・実用英語技能検定（英検）準1級（注1） ・TOEFL iBT:68点（旧）（注2） ・TOEFL iBT:3.5点（新）（注2） ・TOEIC L&R:640点（注2） ・GTEC:1230点（注3） ※資格を証明する書類の写しを提出すること（注4）		調査書の全体の評定平均値が3.5以上であること	制限なし	英語による面接と調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	英語による面接（注5） 調査書	—	240 60
	地 域 推 薦	9	次のいずれかに該当する者 ①北九州市内に所在する高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者 ②北九州市外に所在する高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者で、2026年4月1日以前から引き続き北九州市内に住所を有するもの（注4）	次のいずれにも該当すること ①当該学科への入学意欲が強く、学業成績・人物ともに優れ、当該学科での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.7以上で、なおかつ外国語（英語）の評定平均値が4.0以上であること	1 高等学校あたり3名	英語による小論文の成績と推薦書、調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	英語による小論文 推薦書 調査書	90分	200 30
中 国 学 科	全 国 推 薦	10	次のいずれかに該当する者 ①高等学校を卒業した者 ②高等学校を2027年3月に卒業見込みの者		調査書の全体の評定平均値が3.8以上であること	1 高等学校あたり2名	小論文の成績と推薦書、調査書、入学希望理由書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。 なお、高度な外国語能力を持つ志願者については、推薦書、調査書の点数化にあたり特に評価する。 英語（例：実用英語技能検定（S-CBT含む））のほか、中国語、韓国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語等についても考慮する。 ※語学の検定試験の結果（可否問わず）やスコアを証明する書類を提出すること。 なお、書類の提出がない場合は、推薦書・調査書に記載があっても評価の対象となりません。	小論文 推薦書 調査書 入学希望理由書	90分	200 100

外国語学部（続き）

学 科	推薦 種別	募集 人員	推 薦 要 件			学校長 推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適性要件等	成績要件				時間	配点
国際関係学科	全 国 推 薦	20	次のいずれかに該当する者 ①高等学校を卒業した者 ②高等学校を2027年3月に卒業見込みの者	次のいずれにも該当すること ①当該学科への入学意欲が強く、学業成績・人物ともに優れ、当該学科での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.8以上であること	1 高等学校あたり2名	小論文の成績と推薦書、調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。なお、高度な外国語能力を持つ志願者については、推薦書、調査書の点数化にあたり特に評価する。 英語（例：実用英語技能検定（S-CBT含む））のほか、中国語、韓国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語等についても考慮する。 ※語学の検定試験の結果（合否問わず）やスコアを証明する書類を提出すること。なお、書類の提出がない場合は、推薦書・調査書に記載があっても評価の対象となりません。	小論文 推薦書 調査書	120分	100 50

（注1）実用英語技能検定（英検）は英検S-CBTを含みます。なお、デジタル証明書での提出は認めません。

（注2）TOEFL、TOEICの成績は、出願時から遡って2年間の成績を有効とします。提出すべき成績通知書は、TOEFL「Test Taker Score Report（Test Dateスコア）」、TOEIC「公式認定証」とします。TOEFLはiBT、TOEICはL&Rを対象とします。TOEFL ITP、TOEIC IPでは出願できません。（旧）は2026年1月20日までに受験した成績、（新）は2026年1月21日以降に受験した成績を対象とします。

（注3）GTECはオフィシャルスコアに限ります（CBTタイプを含む）。

（注4）全国推薦と地域推薦の両方の推薦要件を満たす場合は、いずれかを選択することができます。

（注5）推薦書・入学希望理由書は面接の際の資料とします。

経済学部

学 部	推薦 種別	募集 人員	推 薦 要 件			学校長 推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適性要件等	成績要件				時間	配点
経 済 学 部	全 国 推 薦	50	高等学校を2027年3月に卒業見込みの者（商業の科目を20単位以上修得見込みの者を除く。） （注1、注2）	次のいずれにも該当すること ①当該学部への入学意欲が強く、当該学部での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.8以上であること	1 高等学校あたり2名	小論文の成績と推薦書、調査書、資格取得等申告書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	小論文 推薦書 調査書 資格取得等申告書	90分	100 25
	地 域 推 薦	58	次のいずれかに該当する者 ①北九州市内に所在する高等学校を2027年3月に卒業見込みの者（商業の科目を20単位以上修得見込みの者を除く。） ②北九州市外に所在する高等学校を2027年3月に卒業見込みの者（商業の科目を20単位以上修得見込みの者を除く。）で、2026年4月1日以前から引き続き北九州市内に住所を有するもの （注1、注2）			1 高等学校あたり6名				
	商 業 科 推 薦 ・ 総 合	28	高等学校を2027年3月に卒業見込みの者で、商業に関する科目を20単位以上修得見込みのもの （注2）		調査書の全体の評定平均値が4.3以上であること	1 高等学校あたり4名				

（注1）地域推薦に出願できる者は全国推薦の推薦要件も満たしているため、いずれかを選択することができます。

（注2）卒業見込みの者には、留学等により2026年4月1日以降に高等学校を卒業できる者を含みます。

文学部

学 科	推薦 種別	募集 人員	推 薦 要 件			学校長 推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等				
			基 礎 要 件	適性要件等	成績要件				時間	配点		
比較文化学科	推全 薦国	27	高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者で、地域推薦の基礎要件に該当しないもの（注1）		調査書の全体の 評定平均値 が3.5以上であること	1 高等学校 あたり4名	小論文の成績と推薦書、調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	小論文	120分	200		
人間関係学科		13				1 高等学校 あたり2名						
比較文化学科	地域 推薦	29	次のいずれかに該当する者 ①北九州市内に所在する高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者 ②北九州市外に所在する高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者で、2026年4月1日以前から引き続き北九州市内に住所を有するもの（注1）			1 高等学校 あたり6名					}	30
人間関係学科		12	1 高等学校 あたり3名									
比較文化学科	特 別	4	高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者で、次のいずれかの要件を満たすもの ①高等学校在学中に文化系活動において、都道府県大会6位以内又はそれと同等以上の優秀な成績を修めた出場部員 種目例：合唱、吹奏楽、書道、絵画、演劇、放送、英語弁論等 ②高等学校在学中に体育系活動において、都道府県大会8位以内又はそれと同等以上の優秀な成績を修めた出場選手 種目例：野球（硬式・軟式）、テニス（硬式・軟式）、サッカー、ラグビー、バスケットボール、卓球等 ③高等学校在学中に継続した社会活動において、優れた実績を残し又は特別な能力を発揮した個人（活動例） ・日本赤十字社の奉仕活動 ・共同募金会の奉仕活動 ・校内外におけるボランティア活動 ④高等学校在学中に次のような資格を取得した個人 例（記載レベル同等以上） ・実用英語技能検定（英検）：準1級（注2） ・TOEFL iBT:61点（旧）（注3） ・TOEFL iBT:3.5点（新）（注3） ・TOEIC L&R:620点（注3） ・GTEC:1150点（注4） ・実用フランス語技能検定：準1級 ・ドイツ語技能検定：準1級 ・スペイン語技能検定：2級 ・中国語検定：準2級 ・各種ワープロ検定：1級 ・基本情報技術者 等 ※別に活動（又は資格）を証明する書類を提出すること	次のいずれにも 該当すること ①当該学科への入学意欲が強く、当該学科での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の 評定平均値 が3.0以上であること	1 高等学校 あたり各学科2名	小論文の成績、推薦書、活動・資格等の実績、調査書等を総合的に判断して合格者を決定する。	小論文	120分	－		
人間関係学科		5										

(注1) 地域推薦の推薦要件を満たす者の全国推薦出願を認めません。
(注2) 実用英語技能検定(英検)は英検S-CBTを含みます。なお、デジタル証明書での提出は認めません。
(注3) 提出すべき成績通知書は、TOEFL では「Test Taker Score Report (Test Dateスコア)」、TOEIC では「公式認定証」とします。TOEFLはiBT、TOEICはL&Rを対象とします。TOEFL ITP、TOEIC IPでは出願できません。(旧)は2026年1月20日までに受験した成績、(新)は2026年1月21日以降に受験した成績を対象とします。
(注4) GTECはオフィシャルスコアに限ります(CBTタイプを含む)。

法学部

学 科	推薦 種別	募集 人員	推 薦 要 件			学校長 推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適 性 要 件 等	成績要件				時間	配点
法 律 学 科	全 国 推 薦	57	高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者	次のいずれにも該当すること ①法学部への入学意欲が強く、学業成績・人物ともに優れた当該学科での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の 評定平均値 が3.8以上であること	制限なし	小論文の成績と推薦書、調査書、資格取得等申告書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	小論文 推薦書 調査書 資格取得等 申告書	90分	300
政 策 学 科		22								

地域創生学群

学 類	推薦 種別	募集 人員	推 薦 要 件			学校長 推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適性要件等	成績要件				時間	配点
地域創生学類	全国推薦 (地方創生推薦)	10	高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者	次のいずれにも該当すること ①地域の課題に対して強い関心を持っており、地域の課題解決に向けた取り組みのアイデアや能力を持っている者であること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の学習成績概評がA段階に属すること	1 高等学校あたり1名	事前課題に基づくプレゼンテーション及び口頭試問、推薦書、調査書、入学希望理由書をもとに、総合的に判断して合格者を決定する。	プレゼンテーション及び口頭試問 事前課題 推薦書 調査書 入学希望理由書	—	200
	特別推薦 (活動実績推薦)	10	高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者で、次のいずれかの要件を満たすもの ①高等学校在学中に文化系活動において、都道府県大会6位以内又はそれと同等以上の優秀な成績を修めた出場部員 ②高等学校在学中に体育系活動において、都道府県大会8位以内又はそれと同等以上の優秀な成績を修めた出場選手 ③高等学校在学中に継続した社会活動において、優れた実績を残し又は特別な能力を発揮した個人 ※別に活動（又は資格）を証明する書類を提出すること	次のいずれにも該当すること ①卓越した能力を活かして、リーダー的存在として地域に貢献できる活動へ取り組む意欲がある者であること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.5以上であること	1 高等学校あたり2名	口頭試問、推薦書、活動実績、調査書等を総合的に判断して合格者を決定する。	口頭試問 推薦書 活動実績に関する資料 調査書 入学希望理由書	—	200

国際環境工学部

学 科	推薦 種別	募集 人員	推 薦 要 件			学校長 推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適性要件等	成 績 要 件				時間	配点
環 境 化 学 工 学 科	全 国 推 薦	5	高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者	次のいずれにも該当すること ①志望する学科への入学意欲が強く、学業成績・人物とも優れ、当該学科での勉学に適性があること（高等学校で物理及び化学を履修していることが望ましい） ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	化学及び物理を履修しており、化学・物理・数学のいずれかの評定平均値が4.0以上であること	制限なし	化学と面接をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	化学(注1)面接(注3)	120 —	60 40
機械システム工 学 科		5			次のいずれかに該当する者 ①調査書の全体の評定平均値が3.5以上であり、かつ数学、理科、外国語のうちいずれか1教科の評定平均値が5.0であること ②調査書の全体の評定平均値が4.0以上であること	1 高等学校あたり4名	総合問題と面接をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	総合問題(注2)面接(注3)	120 —	60 40
建 築 デザイン学科		6				制限なし	小論文と英語、面接をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	小論文 英語(実用英語技能検定(英検)又はGTEC)(注4)面接(注5)	90 —	50 10 40
生 命 工 学 科		5			調査書の全体の評定平均値が4.0以上であること					

(注1) 化学の基礎的な理解力、思考力、表現力を評価します。
(注2) 自然科学、工業技術、環境技術を題材として、理数系（数学、物理）の基礎的な理解力、思考力、表現力を総合的に評価します。
また、建築デザイン学科については、造形とそれに関する問題を含みます。
(注3) 面接では口頭試問を実施する場合があります。なお、推薦書・調査書・入学希望理由書は面接の際の参考とします。
(注4) 英語は、実用英語技能検定（英検）、GTECの点数を換算します。英検、GTECの成績は出願時の年度を含む過去3年度の成績を有効とします。
英検はS-CBTを含みます。なお、デジタル証明書での提出は認めません。GTECは、GTEC検定版（Advanced, Basic, Core）、GTEC CBTタイプを対象とします。
(注5) 面接では高等学校の学習指導要領に定める理科（物理、化学、生物）の中から2科目に関する基礎的な知識を問う口頭試問を実施する場合があります。
なお、推薦書・調査書・入学希望理由書は面接の際の参考とします。

情報イノベーション学部

学 部	推薦種別	募集人員	推 薦 要 件			学校長推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適性要件等	成績要件				時間	配点
情報イノベーション学 部	全 国 推 薦	30	高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者	次のいずれにも該当すること ①当該学部への入学意欲が強く、当該学部での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.0以上であること	制限なし	小論文と面接の成績、数学と情報科学に関する高等学校在学中の活動を点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。 なお、数学と情報科学に関する活動のうち、以下の記載レベル以上の能力を有する場合は、特に評価する。 ・実用数学技能検定（数検）2級 ・JSTによる「次世代科学技術チャレンジプログラム（STELLAプログラム）」の採択機関が開催するプログラムの参加活動実績 （例：北九州市立大学 GEEKKシルバーバッジ等）	小論文 面接 推薦書 調査書 資格取得等申告書	60分 —	30 70
	地 域 推 薦	20	実用数学技能検定（数検）2級以上の資格を取得し、かつ、次のいずれかに該当する者 ①北九州市内に所在する高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者 ②北九州市外に所在する高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者で、本人又は扶養者が2026年4月1日以前から引き続き北九州市内に住所を有する者 （注1、注2）			1 高等学校あたり1名	面接、推薦書、調査書等を総合的に判断して合格者を決定する。	面接(注3) 推薦書 調査書 資格取得等申告書	—	30

(注1) 実用数学技能検定（数検）2級または準1級、1級のいずれかの資格を取得していることが必須です。
(注2) 地域推薦に出願できる者は全国推薦の推薦要件も満たしているため、いずれかを選択することができます。
(注3) 面接では数学の基礎的な理解力、思考力、表現力を問う口頭試問を実施する場合があります。

【参考】 情報イノベーション学部の学校推薦型選抜における地域推薦と全国推薦の区分

		本人又は扶養者の居住地	
		北九州市内	北九州市外
出願者の在籍する高等学校等の所在地	北九州市内	地域推薦	地域推薦
	北九州市外	地域推薦	全国推薦

※「地域推薦」の区分に該当する場合であっても、「全国推薦」に出願することは可能です（併願は不可）。